

〔科目名〕 経営革新論Ⅱ		〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 専門科目 展開科目
〔担当者〕 生田泰亮 Ikuta Yasuaki		〔オフィス・アワー〕 時間: 後ほど指示します。 場所: 1305 研究室（大学院棟）	〔授業の方法〕 講義

〔科目の概要〕 これまで学んできた経営経済学の知識、理論、特に春学期の経営革新論Ⅰを基礎としながら、「事業を立ち上げ、継続させ、成果を得る」までのプロセスについて、以下の2点を踏まえながら、ケーススタディを中心に講義を行う。 （１）事業創造の基礎理論 「事業を立ち上げる」と言っても、容易なことではない。企業内での新規事業であれ、0からの起業であれ、事業を立ち上げるというフェーズにおいては、①事業領域の設定、②新技術から製品化・アイデアのサービス化、③資金調達といった要点を同時に達成していかなければならない。具体的には、企業内での事業発掘、社内起業、コーポレート・ベンチャーキャピタル、クラウドファンディングなどを学ぶ。 （２）企業における事業創造 事業が軌道に乗り、製品やサービスの市場投入のフェーズに移行していくには、製品化に向けたプロダクト・イノベーションと生産性向上のためのプロセス・イノベーションの視点が重要となってくる。加えて「イノベーションのジレンマ」「キャズム」が示すように、超えなければならない「市場における壁や障害」がある。よって、事業をイノベーションとマーケティングの視点から考える。 基本的には、以下のような流れで講義を進行する。 ① 事前に予習課題に取り組む（教科書の予習範囲、事前の配布資料の熟読など）。 ② 講義内での教員からの説明、受講者とのディスカッションを通じて学習内容についての理解を深める。 ③ 各回の講義内容をもとに、新たな課題が出され、自身で調査、分析し、課題レポートとして提出する。

〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 本講義は、経営経済学における様々な議論、概念、理論を基本としつつ「事業」にフォーカスして講義を進める。事業の概念を軸として、これまで学んできたことを再確認しながら、問い直すことで、これまでの学びをより深めることを期待したい。
--

〔科目の到達目標〕 ・ビジネスを企画、構想するための基礎的な知識を身につける。 ・イノベーションとマーケティングの視点から事業を分析することができる。 ・これまでの様々な会社の事業、製品、サービスがどのように生み出され、認知され、普及したのか、その要点を分析し、まとめることができる。
--

学部				学科		
DP1 ○	DP2 ○	DP3	DP4	DP1 ○	DP2	DP3

〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 学生の理解度を常に考慮しながら講義を進めていくことを心がけます。質疑等は遠慮なくどうぞ。	
〔教科書〕 小林敏男 『事業創成 イノベーション戦略の彼岸』 有斐閣、2014 年。（春学期「経営革新論Ⅰ」教科書を使用） 他、講義資料を配布する予定。	
〔指定図書〕	
〔参考書〕	
〔前提科目〕 「経営革新論Ⅰ」を受講し、単位取得していること（必須条件）。	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 講義時のディスカッション（予習、事前の課題などへの取り組みを含めて）・・・20％ 課題レポート（複数回実施する）・・・80％	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 3 年秋の開講科目です。これまでの学習のまとめと応用という位置付けで講義を考えています。講義は事前の予習を前提とし、ディスカッションを中心に行います。予習内容をもとに学んだ内容を再確認するために、あるいは、自身の理解、閃きやアイディアを「他者に対して発言する」ことで、思考力や表現力を鍛えて欲しいと思っています。積極的な姿勢、旺盛な学習意欲を期待します。ケーススタディにおいては、最新の事例を取り上げることが多く（この点については、学生からの評価が高い）。そのため、シラバスの内容を前後して講義を行う場合があります、その点は留意していただきたい。	
〔実務経歴〕 該当なし	
授 業 ス ケ ジ ュ ー ル	
第 1 回	テーマ（何を学ぶか）： イントロダクション 内 容： 講義の進め方、概要について説明（※シラバス持参のこと）。 教科書・指定図書
第 2 回	テーマ（何を学ぶか）： 企業における事業創造（1） 内 容： 事業創造とは何か？ 教科書・指定図書
第 3 回	テーマ（何を学ぶか）： 企業における事業創造（2） 内 容： 新技術、新規事業をいかにして生むか？ 教科書・指定図書
第 4 回	テーマ（何を学ぶか）： 企業における事業創造（3） 内 容： 新規事業への突破口 教科書・指定図書
第 5 回	テーマ（何を学ぶか）： 事業創造の基礎理論（4） 内 容： 新製品をいかに普及させるか？ 教科書・指定図書

第 6 回	テーマ（何を学ぶか）：事業創造の基礎理論（５） 内 容：事業と戦略的提携、3C から 4C へ 教科書・指定図書
第 7 回	テーマ（何を学ぶか）：企業における事業創造（１） 内 容：ケーススタディ① フランチャイズ・ビジネス スタートアップとビジネスモデル 教科書・指定図書
第 8 回	テーマ（何を学ぶか）：企業における事業創造（２） 内 容： ケーススタディ② フランチャイズ・ビジネス ビジネスモデルと事業成長 教科書・指定図書
第 9 回	テーマ（何を学ぶか）：企業における事業創造（３） 内 容：ケーススタディ③ フランチャイズ・ビジネス 世界ブランドへの成長 教科書・指定図書
第 10 回	テーマ（何を学ぶか）：企業における事業創造（４） 内 容：ケーススタディ④ 最先端技術の動向と産業構造の転換 教科書・指定図書
第 11 回	テーマ（何を学ぶか）：企業における事業創造（５） 内 容：ケーススタディ⑤ 最先端技術の動向と産業構造の転換 教科書・指定図書
第 12 回	テーマ（何を学ぶか）：企業における事業創造（６） 内 容：ケーススタディ⑥ 最先端技術の動向と産業構造の転換 教科書・指定図書
第 13 回	テーマ（何を学ぶか）：事例研究（ケース・スタディ）（１） 内 容：ケーススタディ⑦ 地方から全国、世界へ進出 教科書・指定図書
第 14 回	テーマ（何を学ぶか）：事例研究（ケース・スタディ）（２） 内 容：ケーススタディ⑧ 地方から全国、世界へ 教科書・指定図書
第 15 回	テーマ（何を学ぶか）：事例研究（ケース・スタディ）（３） 内 容：講義全体のまとめ 教科書・指定図書
試 験	※試験は実施しない。ただし、この期間に課題レポートの提出を課す予定。